

令和7年度 第3回 10月17日（金）学校運営協議会

☆学校運営協議会委員の皆さんに、音楽会を鑑賞いただいた感想や「豊平塾」の振り返り、1学期学校評価アンケート（児童・教職員）結果と考察について、ご質問、ご意見、ご要望をいただきました。

(1) 音楽会の感想

○力強い演奏。

大きな声でとてもよく響いていた。ドラムが上手だった。メリハリのあつた演奏だった。強弱があ



いていて、特によかった。6年生の打楽器コンガを叩いていた子のリズム感がとてもよかった。

○毎日の練習がコミュニティーセンターにも聞こえてきた。力強い演奏で迫力があつた。最後の6年生のメッセージは、ジ〜ンと来た。

○子どもたちの声はいいなあと思った。大きな声で歌えてよかったなあと嬉しく思う。子どもたちの姿を見ながら、今後子どもが減っていくと、どうなっていくかを考えさせられた。

○私の家にも、音楽会の練習をしている様子が聞こえてきて、嬉しく思った。学年によって、成長していく様子が、ステージから現れていた。6年生の演奏は、特にすごいと感じた。

○秋の音楽会にしたことで、練習期間が長くなって、よい演奏になったと思う。私は、金管の演奏が素晴らしかったと思う。一生懸命やっている練習の成果が出ていたと思う。中学生と言っても通用するような演奏だった。

教頭）日曜日に東部中学校、北部中学校の吹奏楽部と本校の音楽部が交流で練習会、そして演奏会を行うことになっているので、よかったらそちらも鑑賞に来てください。そういう機会がとても大事だと思う。



○力強さが小学生と思えないような素晴らしい演奏だった。練習してがんばったことが出せたと思う。



○我が家にも練習は聞こえてきていて、熱量が感じられた。1つのものを作り上げることが、子どもたちにとって絆につながっていく。とてもよいことだと思う。とよひらまつりで、地域の方にも発表していったらどうかと思った。

(2) 豊平塾をふり返って

○地域の方と豊平塾をやって勉強になったと思う。「豊平だからできること」地域と関わることをぜひ続けてほしいと思った。買って遊ぶおもちゃではなく、自分で作って遊ぶ道具を作ることで、楽しいし、後まで大切に思うと思うので、このような機会を大事にしたい。



○本当によい企画をしてもらったと思う。ぜひ続けてほしい。

○子どもたちが楽しんでやっていた。自作の手紙などで、お礼をしていることが素晴らしいと思う。

○この時期は稲刈りでお手伝いができなくて申し訳なかった。もし小泉山に登るなら、青葉の時期がよいと思う。

○校歌の二番に「遠い古人の生活をしのぶ遺跡は村のうち」という歌詞がある。縄文・市民科学習を通して、その意味が学べるとよいと思う。校門の蛇体把手付深鉢という土器は、元のサイズのおよそ11倍で作られている。考古館にある実物を見たか。本物、は20cmほどだったので、それを見て来られていると、体験の場としてよかったと思う。

○6年生の防災学習は、班で協力し合うこと、楽しく助け合うことをテーマにして行った。6年生は、このことが言われなくてもできていた。テント張りや防災グッズづくり、グループ学習活動も、協力して取り組むことができていた。自主性も育っていると思う。グループでふり返しをしたとき、災害が起きたら自分たちは何ができるのか、今日学んだことをどう生かせるのかについて、一つ一つの意見を大切にしながら話し合っていた。自分たちも、この6年生の学びの姿に学ばせてもらった。すごい6年生だと思う。



○6年生の防災グッズについて、雨降りの日に全校でビニール袋でカップを作って雨に当たってみるのはどうだろうか。雨の時に来てみた人の感想を聞いてみたい。ポンチョ型をズボンにアレンジをした子たちがいた。発展的に考えられていて素晴らしいと思う。



○とてもよい学習だった。ビニール袋でカップができて、すごい体験だと思った。このような機会を続けていきたい。6年生からお礼の寄せ書きをもらい、とても嬉しかった。



○6年生の感謝の寄せ書きに、各自の思いがあって、それぞれ感じたことが書かれていて、防災学習を一緒にやってよかったなぁと感じた。

○6年生の感謝の寄せ書きに、各自の思いがあって、それぞれ感じたことが書かれていて、防災学習を一緒にやってよかったなぁと感じた。



(3)学校だより『Let's Try!』7, 8, 9月号を見て

OPTA 作業についてと草取り大作戦について、どこを草取りするか、指示してもらうとよいと思った。6年生は、草取りの時に一輪車で草を運び、「草を持って行ってよいですか。」と、聞きながら取り組めていて素晴らしい6年生だと感じた。豚汁が完売に終わってとてもよかった。

(4)学校評価アンケートのまとめから

- 「自分にはいいところがあると思う」という問いに「そう思う」と力強く言えるか。質問に難しさはないか。「だいたいそう思う」も含めて肯定的に自分にいいところがあると考えていると思ってよいのではないか。
- 「学校は楽しい」については、先生方の評価が厳しいと感じた。もっと先生方は、自信をもってやってもよいのではないかと思った。学校は楽しいと思っていない子がいることは配慮していく必要がある。先生方は、「そう思わない」がいないと考えていることから、子どもの考えとのギャップがないようにしていきたい。
- 「授業はわかりやすい」については、先生の思いと子どもの回答とのずれを分析してみたらどうだろうか。
- 「先生に悩みや心配なことを相談できる」について、自分から相談に行くのは大変だから、子どもの様子に気づいて相談していけるとよいと思う。また、子ども館や学童の支援員さんと情報共有していくとさらによいと思う。
- 「駆け込み寺があればよいと思う。社会の中にもこのような機関がある。先生方も利用してよいと思うので、悩み事が相談できるとよいと思う。
- 「担任の先生以外に相談できる先生がいる」について、先生方には相談できる人はいらぬのか、尋ねてみたい。
- 「先生はあなたががんばったことをほめてくれる」については、先生方はほめていると思っているが、100%になっている。しかし、子どもたちは10%弱が、ほめられていないと思っている。その違いを分析する必要があると思う。
- 先生方がリフレッシュできるとよい。南大塩の公民館にはカラオケもある。気楽にパッとみんなでワイワイ。そんな同僚性を発揮していけるとよいと思う。